

2026 年 8 月 24 日

Photo Letter

嶋田彰夫

お盆時期の 8 月 13 日に松戸市を含む千葉県の地域に局地的豪雨(線状降水帯)がありました。「チーバくん」でみると左側のほっぺた ● のあたりを直撃しましたね。

Heavy showers left serious damage around Chiiba-kun's cheek including Matsudo City. The roads were submerged because of the flooding, while ears of rice were hanging down being ready for reaping.



江戸川近くの水田には「早場米」が作付けされています。

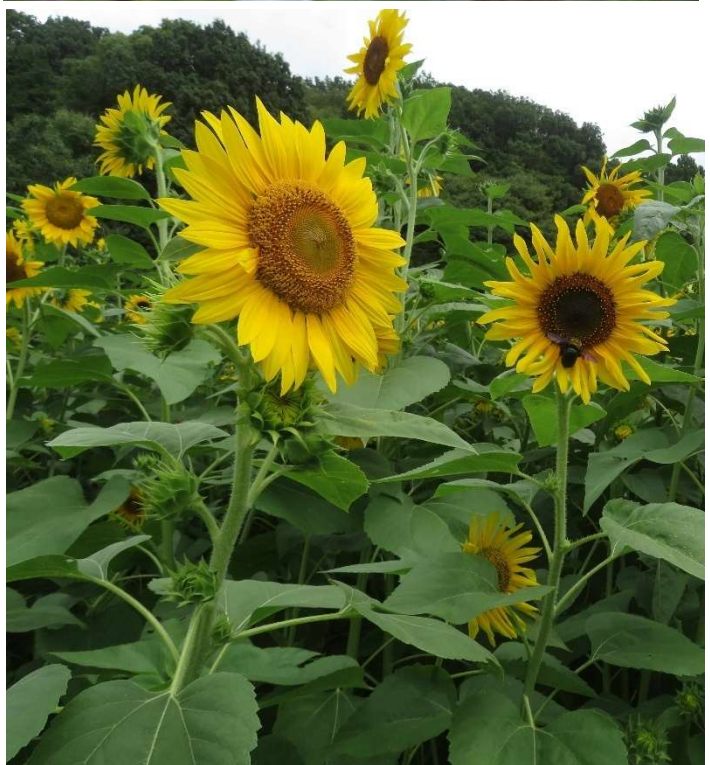
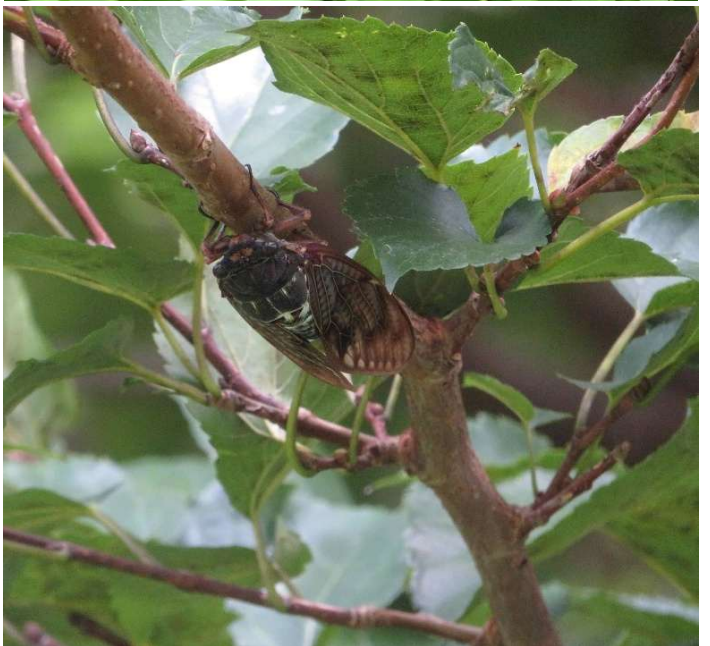
8 月 中下旬には収穫を控えて稲穂が頭を垂れています。



豪雨の二日後に江戸川河川敷に行きましたが、野球場もサッカー運動場もそれほど泥水を被った様子はありませんでした。

アキアカネ(赤とんぼ)が群れをなし飛び交っていて、コスモスが咲き始めていました。







Visiting parks, river banks, agricultural fields in my neighborhood, there were hints of autumn in the air.



● Waterdrops on Lotus leaves



雨上がりのハス池では花の盛りは終わっていますが、葉っぱの上の水滴がキラキラとクリスタルの輝きをみせてくれます。They are shining like crystal glasses.



ロータス効果(ハス効果):「ハスの葉はその微細構造と表面の化学的特性により、決して濡れることがない。葉の表面張力によって水銀のように丸まって水滴となり、泥や、小さい昆虫や、その他の異物を絡めて取りながら転がり落ちる。」「ナノテクノロジーの分野では、塗料、屋根材、布などの表面でロータス効果を再現し、それらを乾燥したきれいな状態に保つ方法の開発が行われている。」(ウィキペディアより) The water surface tension is called Lotus Effect.



◀ ワルナスビ(悪茄子): ナスやジャガイモの花に似ていますが、「悪役」のような呼び名です。牧野富太郎さんが命名したそうです。トマトのような実がなるのですが毒性があること、そして、地下に長い根茎を伸ばすなどでこのような名前になったようです。



◀ ヘクソカズラ(屁糞葛): この植物の呼び名もかわいそうです。可愛い花ですが、葉や茎などに傷がつくと悪臭を放つことから付けられたようです。この成分は害虫などから実を守る為のもののようなのです。

万葉集にも歌われているので、奈良時代からあって、乾燥したものは皮膚薬として利用されていたそうです。

● 七右衛門新田の稲荷神社 Inari-Jinja Shrine, Shichiemon-Shinden, Matsudo



松戸市の旭町、三村新町、七右衛門新田の辺りだけでも神社は5ヶ所以上あって、その他に住宅敷地内に鳥居や祠を構えている旧家もあります。この七右衛門新田の神社は400年前、江戸時代初期に祀られたようです。イチヨウの木からギンナンが落ち始めています。

庚申信仰は800年前の平安時代に中国から移入されました。神社には庚申塔がいくつもあります。右の塔は「享保十一丙午年」ですから1726年、丁度300年前の丙午(ひのえうま・へいご)ですね。

A Koshintou-tower (庚申塔) is a stone monument built based on Koshin belief, a Japanese folk religion derived from Taoism.

享保年間に晩年を迎えた人物にこんな人がいます。

近松門左衛門

享保9年 享年72歳

紀伊國屋文左衛門

享保19年 享年66歳



●「記錄的短時間大雨」

“Record-Breaking” short -term rain fall caused inland flooding.

It was in deed a serious inland flooding caused by surface runoff, drainage failure etc., while the large rivers did not flood.

松戸市の拙宅周辺は坂川、六間川、横六間川、新坂川などの放水路が、そして、農業用水路が田畑だけではなく、田畑を埋め立てて作られた住宅街にも流れています。江戸川などの河川(外水)氾濫も心配ですが、下水や排水が降雨量追いつかない内水氾濫も懸念されました。



大雨の数日後、自転車でご近所巡りをしてからもうすぐ収穫を迎える水田地帯を抜けて家路をたどっていてびっくり。

我が家のすぐ近くで水田の水路にはまってしまった自動車が数台。そして、馬橋高校前のバス通りなどに放置された自動車が数台。冠水して動けなくなったのでしょう。



気候温暖化による異常気象を間近に感じました。

やっぱり環境対策をもっと具体的にすべきです。戦争も含めた環境破壊をしている場合ではないですね。

★防衛戦力増強よりも防災を!!!

No Armed Defense but Disaster Prevention!

